

# スポーツで地域活性化ラボ

## お世話になった連携先団体

一般社団法人瀬戸内ブルーシャインズ、株式会社大町、NPO法人おかやま理大クラブ、地域のスポーツ少年団、岡山理科大学硬式野球部

## ラボで解決に取り組んだ課題

スポーツチームやNPO法人と共に、地域の活性化を図る。

## 活動のあらまし

私たちのラボでは、1年を通して以下の活動を行った。

### 女子野球の現状把握

連携先である瀬戸内ブルーシャインズへの理解を深めるとともに、女子野球の実態を把握するため試合を観戦した。会場には多くの観客が訪れ、配布された応援グッズによって大いに盛り上がりを見せていた。



### 女子野球の公式戦運営

瀬戸内ブルーシャインズの公式戦運営の補助および来場者対応に携わった。実際の試合現場に入り、観客数を増やすための様々な工夫を実践した。普段は気づかない細部まで意識し、運営の重要性を学んだ。



### 野球教室の企画・運営

NPO法人おかやま理大クラブが主催する野球教室の企画・運営に携わった。事前準備から当日の運営までを担当し、円滑に進行するための工夫を重ねた。スポーツ現場で働く大変さや楽しさ、チームで協働することの難しさや重要性など多くのことを学んだ。



### とうもろこし収穫

株式会社大町が瀬戸内市での地域貢献の一環として行っているとうもろこし収穫を体験し、地域と農業の繋がりについて理解を深めた。また、生産者の工夫を知ることができた。さらに、ウイスキー作りの工程にも触れ、とても貴重な経験となった。



## 1年間の活動の総括・成果

本ラボでは、「スポーツを通じて地域を活性化すること」を目的に、岡山県内のスポーツチームや地域団体と連携しながら、1年間にわたりさまざまな活動に取り組んだ。女子野球の試合観戦および公式戦運営、野球教室の企画・運営、とうもろこし収穫など、地域に根ざした活動を実体験することで、スポーツが持つ力や地域とのつながりの大切さへの理解を深めた。

これらの活動を通して、スポーツは競技そのものにとどまらず、人と人、地域と地域をつなぐ大きな役割を果たしていることを実感した。また、主体的に考え行動する力や、チームで課題に取り組む力の重要性についても学ぶことができた。

担当教員：安井 正也、岡田 康太

木戸 優羽、郡司 美緒、神寶 百花、大森 凜子、大倉 慶快、大井 蔵之介、難波 旺里、山崎 都永、三原 隼人、藤森 旭心、一宮 悠人、三宅 秀和、安藤 千早、河田 大空、吉富 陽悠、佐々木 颯太、土居 慎治、佐野 成優